

第3期船橋市障害福祉計画の
目標値に対する実績

～平成25年度実績～

平成27年1月

船橋市

目次

第3期船橋市障害福祉計画の達成状況の点検及び評価・・・・・・・・・・ 1

障害福祉サービス等の提供による平成26年度の目標値に対する進捗状況

1 地域生活に移行する施設入所者の数・・・・・・・・・・ 3
2 一般就労に移行する福祉施設利用者の数・・・・・・・・・・ 8

障害福祉サービスの見込み量と実績

1 指定障害福祉サービス・・・・・・・・・・ 16
（1）訪問系サービス・・・・・・・・・・ 16
（2）日中活動系サービスⅠ・・・・・・・・・・ 17
（3）日中活動系サービスⅡ・・・・・・・・・・ 18
（4）日中活動系サービスⅢ・・・・・・・・・・ 18
（5）居住系サービス・・・・・・・・・・ 19
2 指定相談支援・・・・・・・・・・ 20

地域生活支援事業の見込み量と実績

（1）相談支援事業・・・・・・・・・・ 21
（2）コミュニケーション支援事業・・・・・・・・・・ 22
（3）日常生活用具給付等事業・・・・・・・・・・ 23
（4）移動支援事業・・・・・・・・・・ 25
（5）地域活動支援センター事業・・・・・・・・・・ 25
（6）その他の事業・・・・・・・・・・ 27

第4期船橋市障害福祉計画の策定と基本指針の見直しについて・・・・ 29

第3期船橋市障害福祉計画の達成状況の 点検及び評価

第3期船橋市障害福祉計画は、平成24年度から平成26年度において、平成26年度を最終目標年次とした具体的な数値目標や、各年度における障害福祉サービス等の見込み量を設定し、本市における障害者施策の一層の充実を図るために策定しました。

第3期船橋市障害福祉計画の策定から3年が経過し、本計画に対する進捗状況を確認するために計画達成状況の点検及び評価を行います。

なお、計画達成状況の確認のため、第3期船橋市障害福祉計画上で定めていない平成25年度の参考目標値を設定している項目があります。第3期船橋市障害福祉計画上で定めていない参考目標値についてはそれぞれのページで説明を加えています。

また、各項目で実績の時間軸が異なりますので、どの時点での実績であるかについてもそれぞれのページで説明を加えます。

障害福祉サービス等の提供による 平成26年度の目標値に対する進捗状況

障害福祉サービス等の提供による平成26年度の目標値については国から目安となる指針が示されています。

「障害福祉サービス及び相談支援並びに市町村及び都道府県の地域生活支援事業の提供体制の整備並びに自立支援給付及び地域生活支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針（平成18年厚生労働省告示第395号）」における平成26年度における目標値は、以下の通りです。

なお、国の指針を基に第3期船橋市障害福祉計画では船橋市の実態に合わせた平成26年度の目標値を定めています。

項 目		目 標 値
1	入所者の地域生活への移行	平成17年10月1日時点の施設入所者数の3割以上が地域生活へ移行
	入所者数の削減	平成26年度末の施設入所者数を平成17年10月1日時点の施設入所者数から1割以上削減
2	就労移行の促進	
	① 福祉施設から一般就労への移行	平成17年度の一般就労への移行実績の4倍以上
	② 就労移行支援事業の利用者	平成26年度末における福祉施設利用者の2割以上が利用
	③ 就労継続支援事業の利用者	平成26年度末において就労継続支援事業利用者の3割以上がA型を利用

1 地域生活に移行する施設入所者の数

（「第3期船橋市障害福祉計画」の19ページ）

【目標値】

項目		数値	考え方
第1期計画策定時の入所者数（A）		352 人	平成17年10月1日時点での数値
平成26年度入所者数（B）		325 人	平成26年度末見込み
目標値	削減見込み（A-B）	27 人 (8) (%)	入所者の削減数 ((A-B) / A)
		26 人	平成25年度参考目標値（※1）
	地域生活移行数（C）	41 人 (12) (%)	施設からグループホーム等に移行する者の数 (C / A)
		39 人	平成25年度参考目標値（※2）

※1 平成23年10月時点で削減数24人のため、平成26年度までに平均的に削減するものと仮定し、参考目標値を26人としました。

※2 平成17年10月1日から平成22年度末までの間で地域生活移行数が30人のため、平成26年度までに平均的に移行するものと仮定し、参考目標値を39人としました。

【実績値】

項目		数値	考え方
平成25年度入所者数 (D)		291 人	平成25年度末実績
25年度 の実績	削減実績 (A-D)	61 人 (17) (%)	入所者の削減数 ((A-D) / A)
	地域生活 移行数 (E)	53 人 (15) (%)	施設からグループホーム等に 移行する者の数 (E / A)

入所者数について

平成25年度末（平成26年3月末）時点の入所支援施設の利用者は291人で、平成26年度末の削減見込み目標値325人を34人上回る結果となっています。

地域生活移行者数

平成17年10月1日から平成24年度末までの実績・・・45人
平成25年度中の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8人

※地域生活への移行者数は、実績が延べ人数となっているので、平成24年度までの実績に平成25年度の実績を加えた53人が、計画における実績となります。

○調査方法

調査の対象事業所：

平成26年3月末時点で、船橋市援護者の利用実績のある70事業所。
（施設入所支援）

照会及び回答方法：

文書及びメール（市内の事業所）にて照会し、郵送・FAX・メールによる回答を求めました。

調査及び回答の期間：

平成26年6月16日（月）～6月28日（金）

○平成25年度中の実績内訳について

地域生活への移行者は、8人の実績がありました。そのうち、当計画の実績となりうる平成17年10月1日時点（基準日）の入所者は、5人でした。

事業者名	集計結果	移行先			基準日の 入所者
		GH	CH	住宅	
㊦セルプ・ガーデンハウス	1			1	1
㊦更生園	1		1		0
㊦国立障害者リハビリテーション センター 自立支援局伊東重度障害者センター	1	1			0
㊦のまる	1		1		1
㊦大久保学園	3		3		3
㊦国立障害者リハビリテーション センター	1			1	0
合 計	8	1	5	2	5

㊦身体障害者の利用事業所

㊦知的障害者の利用事業所

㊦精神障害者の利用事業所

調査対象の70事業所のうち、地域移行の実績があったのは6事業所で、全体の9%ほどになっています。

基準日時点の入所者で地域生活へ移行した数としては、大久保学園の3人が37.5%の割合を占めています。

○障害別の地域移行状況について

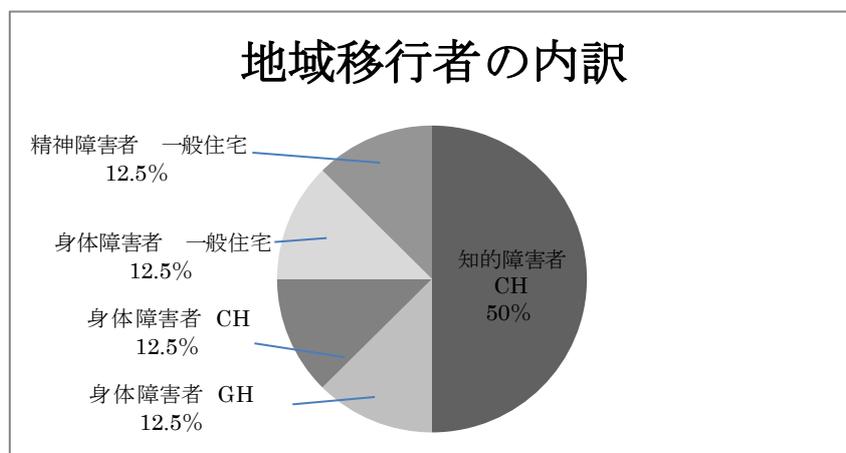
身体障害者の利用事業所→セルプ・ガーデンハウス、更生園
国立障害者リハビリテーションセンター
自立支援局伊東重度障害者センター
合計3人（地域移行者の37.5%）

知的障害者の利用事業所→のまる、大久保学園
合計4人（地域移行者の50%）

精神障害者の利用事業所→国立障害者リハビリテーションセンター
合計1人（地域移行者の12.5%）

地域移行者の内訳をみると、身体障害者の利用事業所からは、グループホーム、ケアホーム、一般住宅等にそれぞれ1名ずつ移行しています。

知的障害者の利用事業所からは全てケアホームへ、精神障害者の利用事業所からは全て一般住宅等への移行となっています。



2 一般就労に移行する福祉施設利用者の数

（「第3期船橋市障害福祉計画」の22ページ）

①福祉施設から一般就労への移行者数

【目標値】

項目	数値	考え方
第1期計画策定時の年間一般就労移行者数（A）	9 人	平成17年度において福祉施設（※1）を退所し、一般就労した者の数
平成26年度の年間一般就労移行者数（B）	36 人 (400) (%)	平成26年度において福祉施設から一般就労に移行した者の数（B/A）
平成25年度の年間一般就労移行者数目標値	36 人 (400) (%)	参考目標値（※2）

※1 一般就労移行者数の項目における福祉施設とは、生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援を行う事業所、地域活動支援センター、市で独自に補助を行っている心身障害者福祉作業所です。

※2 平成22年度時点で、年間移行者数が42人であったため、平成26年度の目標値と同値の36人を平成25年度の参考目標値としました。

【実績値】

項目	数値	考え方
平成25年度の年間一般就労移行者数（B'）	94 人 (1,044) %	平成25年度において福祉施設から一般就労に移行した者の数（B' / A）

平成25年度の一般就労移行者数は94人と、平成26年度の目標値を上回る結果となりました。

（第4期計画での福祉施設とは、生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援を行う事業所としているため、第4期計画での一般就労者数は80人となっています。）

○調査方法

調査の対象事業所：

平成26年3月末時点で、船橋市援護者の利用実績のある225事業所。

（生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型・B型、地域活動支援センター、心身障害者福祉作業所）

照会及び回答方法：

文書及びメール（市内の事業所）にて照会し、郵送・FAX・メールによる回答を求めました。

調査及び回答の期間：

平成26年6月16日（月）～6月28日（金）

○平成25年度の実績内訳について

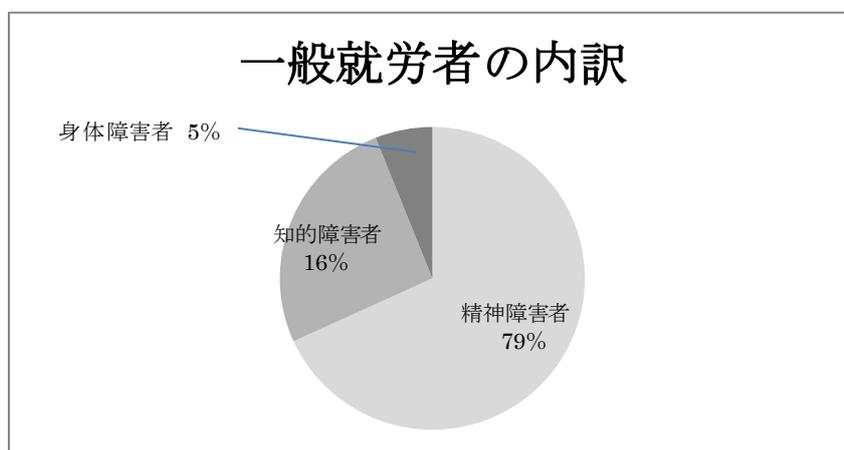
事業者名	サービス種類	集計結果	障害区分		
			身体	知的	精神
オムソーリ御茶の水	自立訓練（生活訓練）	1			1
グラヌースケアセンター	自立訓練（生活訓練）	1			1
みらい工芸館	就労移行支援	1		1	
国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局伊東重度障害者センター	就労移行支援	1	1		
EOS ファーム船橋	就労移行支援	1	1		
Kaien 秋葉原サテライト	就労移行支援	1			1
アイエスエフネットライフ青山	就労移行支援	1			1
アットジーピー シゴトライ台東センター	就労移行支援	1			1
アビリティサービス	就労移行支援	3	1		2
ウイングル船橋センター	就労移行支援	13			13
ウェルビー松戸センター	就労移行支援	1			1

第3期船橋市障害福祉計画の目標値に対する実績（平成27年1月）

事業者名	サービス種類	集計 結果	障害区分		
			身体	知的	精神
ウェルビー西船橋駅前センター	就労移行支援	8		8	
キャリア開発サンシャイン	就労移行支援	1			1
パル	就労移行支援	2			2
ユースキャリアセンター フラッグ	就労移行支援	3			3
リバーサル市川	就労移行支援	3			3
ロクマル ジョブサ船橋	就労移行支援	7		1	6
ロクマル ジョブサ船橋みなみ	就労移行支援	2			2
ワークセンター翔和	就労移行支援	1		1	
株式会社Ka i e n 秋葉原事業所	就労移行支援	2			2
就労支援センター ひゅーまにあ鎌ヶ谷	就労移行支援	2	1		1
障害者就職サポートセンター ビルド	就労移行支援	6			6
ワークアイ・ジョブサポート	就労移行支援	1		1	
あかね園	就労移行支援	6		6	
ワーカーズハウスぐらす	就労移行支援	1		1	
ふなばし工房	就労移行支援	1			1
ハッピーストリート	就労継続支援（A型）	1			1
あくあ	就労継続支援（B型）	1		1	
障がい福祉サービス事業所 こんぼーる	就労継続支援（B型）	3			3
障害者の働く場もえぎ	就労継続支援（B型）	1			1
青い鳥	就労継続支援（B型）	1			1
若葉リハビリセンター	生活介護	1	1		
袖ヶ浦学園	生活介護	1		1	
地域活動支援センター アーモ	地域活動支援センター	2			2
地域活動支援センター カレーサ	地域活動支援センター	7			7

事業者名	サービス種類	集計 結果	障害区分		
			身体	知的	精神
地域活動支援センター とまりぎ	地域活動支援センター	1			1
西船橋ワークショップ	心身障害者福祉作業所	1		1	
ひなたぼっこ	心身障害者福祉作業所	1			1
船橋ふくしの家	心身障害者福祉作業所	2			2
合 計		94	5	15	74

○障害別の一般就労状況について



身体障害者→ 5人（一般就労者の 5%）
 知的障害者→15人（一般就労者の16%）
 精神障害者→74人（一般就労者の79%） 合計94人

前年度の一般就労者数は66人であり、前年度と比較すると一般就労者が28人増えているため、着実に一般就労が進んでいます。障害別の一般就労の内訳については前年度とほぼ同じ割合となっています。

就労移行支援事業所からの一般就労が中心となっていますが、就労継続支援事業所、自立訓練事業所、地域活動支援センター、心身障害者福祉作業所と幅広いサービス種類からの一般就労が見受けられます。

②就労移行支援事業の利用者数

【目標値】

項目	数値	考え方
平成26年度末の福祉施設（※1）利用見込者数（C）	1,492 人	生活介護事業所、自立訓練事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所が対象
平成25年度の福祉施設利用見込者数	1,442 人	目標値（※2）
上記（C）のうち平成26年度末の就労移行支援事業利用者数（D）	172 人 (12) (%)	(D/C)
平成25年度の就労移行支援事業利用者数	162 人 (11) (%)	目標値（※2）

※1 福祉施設利用見込者数の項目における福祉施設とは、生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援を行う事業所となります。

※2 平成25年10月1日時点の目標値となります。

【実績値】

項目	数値	考え方
平成25年度の福祉施設利用者数（C'）	1,557 人	生活介護事業所、自立訓練事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所が対象
上記（C'）のうち平成25年度の就労移行支援事業利用者数（D'）	222 人 (14) (%)	(D' / C')

※ 平成25年10月1日時点の実績値となります。

平成25年度の時点で、福祉施設利用見込者数、就労移行支援事業利用者数ともに本市の平成26年度の目標値を上回っています。

就労移行支援事業利用者数の伸びも顕著であるため、厚生労働省の指針である「福祉施設利用見込者数のうち2割以上が就労移行支援事業を利用する」という目標にも近づいています。

③就労継続支援事業の利用者数

【目標値】

項目	数値	考え方
平成26年度末の就労継続支援事業利用者数（E）	449 人	A型= 37人 B型=412人
平成25年度の就労継続支援利用者数	419 人	目標値（※）
上記EのうちA型（雇成型）利用者数（F）	37 人 (8) (%)	(F/E)
平成25年度の就労継続支援A型（雇成型）利用者数	32 人 (8) (%)	目標値（※）

※ 平成25年10月1日時点の目標値となります。

【実績値】

項目	数値	考え方
平成25年度の就労継続支援事業利用者数（E'）	454 人	A型= 50人 B型=404人
上記EのうちA型（雇成型）利用者数（F'）	50 人 (11) (%)	(F'/E')

※ 平成25年10月1日時点の実績値となります。

厚生労働省の指針としては平成26年度末において就労継続支援事業利用者の3割以上がA型（雇成型）を利用するという指針になっておりますが、本市においては、平成26年度末に、就労継続支援事業利用者のうち、8%がA型を利用することを目標としています。

平成25年度の時点で、平成26年度末の就労継続支援A型（雇成型）の利用者数の目標値を上回っています。

障害福祉サービスの見込み量と実績

1 指定障害福祉サービス

（「第3期船橋市障害福祉計画」の26ページ）

※障害福祉サービスの実績については、平成25年10月1日の数値を掲載しています。

（より実態を把握するため、第4期計画同様に支給決定と利用の二つの実績を掲載）

（1）訪問系サービス（「第3期船橋市障害福祉計画」の26ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

サービス	24年度		25年度		考え方
	支給決定	利用	支給決定	利用	
居宅介護	18,424	—	19,707	—	時間/月
	18,641	7,548	23,760	8,052	
	560	—	599	—	人数/月
	577	343	649	399	
重度訪問介護	8,694	—	8,832	—	時間/月
	9,305	5,681	10,279	6,200	
	63	—	64	—	人数/月
	60	40	62	39	
同行援護	7,800	—	8,050	—	時間/月
	7,529	2,013	8,116	2,326	
	156	—	161	—	人数/月
	152	92	168	99	
行動援護	2,385	—	2,531	—	時間/月
	2,585	1,067	2,613	988	
	65	—	69	—	人数/月
	68	44	69	43	
重度障害者等 包括支援	0	—	0	—	時間/月
	0	0	0	0	
	0	—	0	—	人数/月
	0	0	0	0	

平成25年度における訪問系サービスの支給人数及び月間延べ支給時間は、居宅介護及び重度訪問介護について、実績が見込み量を上回っています。

同行援護及び行動援護についてはおおむね見込みどおりの実績となっています。

重度障害者等包括支援については、平成25年度も利用はありませんでした。全体としては、障害のある人の増加に伴い増加傾向となっています。

(2) 日中活動系サービスⅠ（「第3期船橋市障害福祉計画」の28ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

サービス	24年度		25年度		考え方
	支給決定	利用	支給決定	利用	
短期入所	12,047	—	12,224	—	日数/月
	12,484	801	13,413	1,271	
	814	—	826	—	人数/月
	836	73	885	92	
療養介護	93	—	93	—	日数/月
	1,020	1,020	1,023	957	
	3	—	3	—	人数/月
	34	34	33	31	

短期入所については延べ支給時間、支給人数ともに見込みを上回る実績となっています。

療養介護については、平成24年4月1日に施行された児童福祉法の改正の影響で、平成24年度より見込み量を大幅に上回る実績となっています。平成24年度から比較すると横ばいの実績となっています。

(3) 日中活動系サービスⅡ（「第3期船橋市障害福祉計画」の30ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

サービス	24年度		25年度		考え方
	支給決定	利用	支給決定	利用	
生活介護	17,618	—	17,848	—	日数/月
	16,808	14,370	17,666	14,783	
	766	—	776	—	人数/月
764	723	803	757		
自立訓練 (機能訓練)	598	—	598	—	日数/月
	462	161	299	148	
	26	—	26	—	人数/月
21	13	13	10		
自立訓練 (生活訓練)	1,357	—	1,357	—	日数/月
	1,434	1,259	1,774	1,418	
	59	—	59	—	人数/月
63	59	74	72		

自立訓練（機能訓練）は見込みを下回っており、自立訓練（生活訓練）については見込みを上回っています。

なお、自立訓練（生活訓練）には宿泊型自立訓練も含まれています。

(4) 日中活動系サービスⅢ（「第3期船橋市障害福祉計画」の32ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

サービス	24年度		25年度		考え方
	支給決定	利用	支給決定	利用	
就労移行支援	3,496	—	3,726	—	日数/月
	4,268	2,536	5,106	2,520	
	152	—	162	—	人数/月
194	145	222	154		

サービス	24年度		25年度		考え方
	支給決定	利用	支給決定	利用	
就労継続支援 A型	621	—	736	—	日数/月
	748	507	1,150	708	
	27	—	32	—	人数/月
	34	26	50	40	
就労継続支援 B型	8,326	—	8,901	—	日数/月
	8,206	5,491	9,292	5,905	
	362	—	387	—	人数/月
	373	307	404	340	

平成25年度の実績は、就労移行支援、就労継続支援A型が見込みを大きく上回っており、就労継続支援B型についてはほぼ見込み通りとなっています。

(5) 居住系サービス（「第3期船橋市障害福祉計画」の34ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

サービス	24年度		25年度		考え方
	支給決定	利用	支給決定	利用	
共同生活援助 共同生活介護	210	—	220	—	人数/月
	217	192	242	204	
施設入所支援	327	—	326	—	人数/月
	300	292	293	282	

グループホーム・ケアホームについては見込みを上回っています。新しく開所した大久保学園の定員10名の原宿ホーム参番館に加え、他市でも共同生活住居が増設されたためであると考えられます。

施設入所支援についてはグループホーム等の利用が増えたため、見込みを下回ったものと考えられます。

2 指定相談支援

（「第3期船橋市障害福祉計画」の36ページ）

※実績については、平成25年10月1日の数値を掲載しています。

（より実態を把握するため、第4期計画同様に支給決定と利用の二つの実績を掲載）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

サービス	24年度		25年度		考え方
	支給決定	利用	支給決定	利用	
地域移行支援	5	—	7	—	人数/月
	8	4	7	4	
地域定着支援	5	—	7	—	人数/月
	0	0	0	0	
計画相談支援	360	—	900	—	人数/月
	39	32	168	101	

指定一般相談のうち、地域移行支援は見込みどおりの実績となっており、地域定着支援は実績なしとなっております。

計画相談支援については平成27年3月末までに障害福祉サービス等を利用するすべての人についてサービス等利用計画を作成することとなっております。

平成24年度の時点と比較して対象者数は拡大し、平成25年10月1日現在の、全受給者2,474人に対し168人が対象となっており、対象者割合は6.79%となっております。

なお、平成26年3月時点で、相談支援事業所数は指定一般相談支援事業所が11箇所、指定特定相談支援事業所が15箇所となっております。

地域生活支援事業の見込み量と実績

（1）相談支援事業（「第3期船橋市障害福祉計画」の40ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

事業名	24年度	25年度	単位
障害者相談支援事業	1	1	事業実施 箇所数
	1	1	
地域自立支援協議会	1	1	配置人数
	1	1	
市町村相談支援機能強化事業	1	1	助成人数
	1	2	
成年後見制度利用支援事業	15	22	事業実施 箇所数
	4	5	
障害児等療育支援事業	4	4	事業実施 箇所数
	4	6	
子どもの発達に関する相談	2	2	事業実施 箇所数
	2	2	
船橋市こども発達 相談センター	1	1	事業実施 箇所数
	1	1	
船橋市ことばの相談室	1	1	事業実施 箇所数
	1	1	

障害者相談支援事業については、総合相談窓口「ふらっと船橋」において、障害種別ごとの相談事業者等と連携を図りながら、各種相談を行いました。

船橋市自立支援協議会については、全体会のほか、その下部組織として課題別専門部会を設置し、福祉の分野だけでなく保健、医療、教育、就労等の関係する分野と連携し、幅広い視点から地域の障害福祉について検討しました。

基幹相談支援センターについては、総合窓口センター「ふらっと船橋」を設置しています。

基幹相談支援センター等機能強化事業については、平成25年度より精神保健福祉士を障害福祉課に1名追加し、2名の配置によりノウハウの蓄積の少なかった精神障害の分野に関して、専門的知識に基づく障害理解の推進を図りました。

成年後見制度利用支援事業については、後見人等への報酬の助成を受けた5名が対象となっています。「船橋市成年後見支援センター」への平成25年度の相談件数は延べ1,195件となっているため、成年後見制度への必要性は高まっていると考えられます。

障害児等療育支援事業については、「大久保学園」、「のまる」、「ゆたか福祉苑」、「けいよう」、「ワーカーズハウスぐらす」、「にじと風」の6施設において、施設の有する機能を活用して相談や指導を実施しました。

(2) コミュニケーション支援事業

(「第3期船橋市障害福祉計画」の43ページ)

第3期計画の見込み量と実績(上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績)

事業名	24年度	25年度	単位
手話通訳者派遣事業	19	21	通訳者登録数
	21	20	
	1,213	1,288	派遣件数/年
	1,122	1,230	
手話通訳者設置事業	3	3	通訳者設置数
	3	3	
	4,555	4,855	相談件数/年
	3,623	3,053	
要約筆記者派遣事業	25	35	要約筆記者数
	17	24	
	557	569	派遣件数/年
	626	730	

手話通訳者派遣事業については、平成25年度の派遣件数の実績が、年々増加してはいるものの、見込み量を下回っています。

手話通訳者設置事業については、相談件数の実績が年々減少しており、見込み量を下回っています。

要約筆記者派遣事業については、平成25年度の要約筆記者数の実績が見込み量を下回っています。派遣件数の実績は、年々増加しており、実績が見込み量を上回っています。

（3）日常生活用具給付事業（「第3期船橋市障害福祉計画」の45ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

用具名	24年度	25年度	単位
介護・訓練支援用具	21	21	延べ給付件数 ／年
	19	35	
自立生活支援用具	103	103	
	96	126	
在宅療養等支援用具	78	78	
	60	79	
情報・意思疎通支援用具	68	68	
	81	112	
排泄管理支援用具	10,513	10,828	
	10,567	10,786	
居宅生活動作補助用具	13	13	
（住宅改修費）	14	12	

用具名	品目
介護・訓練支援用具	特殊寝台、体位変換機、特殊マット、移動用リフト
自立生活支援用具	火災警報器、入浴補助用具、頭部保護帽等
在宅療養等支援用具	盲人用体温計、酸素ボンベ運搬車、ネブライザー、透析液加温機、電気式たん吸引機等
情報・意思疎通支援用具	視覚障害者用拡大読書器、聴覚障害者用通信装置等
排泄管理支援用具	ストマ用装具、特殊便器、収尿器等
居宅生活動作補助用具 （住宅改修費）	居宅生活動作補助用具

介護・訓練支援用具及び居宅生活動作補助用具（住宅改修費）については、平成25年度の実績が見込み量を上回っています。

自立生活支援用具については、年々増加しており、平成25年度の実績が見込み量を上回っています。

在宅療養等支援用具については、平成25年度の実績が見込み量を上回っています。

情報・意思疎通支援用具については、年々増加しており、実績が見込み量を上回っています。

排泄管理支援用具については、平成25年度の実績が見込み量を下回っているものの、年々増加しています。

居宅生活動作補助用具（住宅改修費）については、平成25年度の実績が見込み量を下回っています。

（4）移動支援事業（「第3期船橋市障害福祉計画」の47ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

事業名	24年度	25年度	単位
移動支援事業	77	77	実施箇所数
	68	80	
	297	315	利用者数 ／月
	318	330	
	3,824	4,207	延べ利用 時間／月
	3,442	3,359	

利用者数は見込みを上回っており、延べ利用時間は見込みを下回っております。おおむね見込みどおりの実績といえます。

（5）地域活動支援センター事業

（「第3期船橋市障害福祉計画」の49ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

事業名	24年度	25年度	単位
地域活動支援センターⅠ型	1	1	実施箇所数
	1	1	
	103	103	利用人数／月
	110	95	
地域活動支援センターⅡ型	0	0	実施箇所数
	0	0	
	7	7	利用人数／月
	5	6	

第3期船橋市障害福祉計画の目標値に対する実績（平成27年1月）

事業名	24年度	25年度	単位
地域活動支援センターⅢ型	11	10	実施箇所数
	11	10	
	158	159	利用人数/月
	140	130	

I型については、平成25年度の月単位の利用人数実績が減少しているものの、年単位の利用人数実績は増加しています。

II型については、市内においては実施事業所がありませんが、市外にある事業所に通所の実績がありました。

III型については、平成25年度の市内事業所の利用人数121人、市外事業所の利用人数9人となっています。

（6）その他の事業（「第3期船橋市障害福祉計画」の52ページ）

第3期計画の見込み量と実績（上段が第3期計画の見込み量、下段の網掛け部分が実績）

事業名		24年度	25年度	単位
福祉ホーム事業	身体障害	11	11	入居者数／月
		11	10	
	精神障害	0	0	
		0	0	
訪問入浴サービス事業		308	308	延べ利用件数 ／月
		198	203	
更生訓練費給付事業		10	10	利用者数／月
		3	0	
施設入所者就職支度金給付事業		1	1	給付件数／年
		3	7	
知的障害者職親委託事業		1	1	利用者数／月
		1	1	
生活訓練等事業		27	27	延べ利用件数 ／月
		14	51	
日中一時支援事業		336	403	利用者数／月
		308	354	
生活サポート事業		0	0	利用者数／月
		0	0	
		0	0	延べ利用時間 ／月
		0	0	

（次ページにつづく）

社会参加促進事業			
スポーツ・レクリエーション	1	1	教室開催数 ／年
教室開催等事業	1	2	
点字の広報発行事業	20	20	発行部数／月
	44	58	
声の広報発行事業	71	71	
	130	133	
手話通訳者養成事業	36	36	研修開催数 ／年
	30	30	
要約筆記者養成事業	27	27	
	27	0	
自動車運転免許取得事業	5	5	助成件数／年
	3	6	
自動車改造費助成事業	13	13	
	11	5	

訪問入浴サービス事業については、年々増加しているものの、実績が見込みを下回っています。

日中一時支援事業については、年々増加しているものの、実績が見込みを下回っています。

施設入所者就職支度金給付事業については、年々増加しており、実績が見込みを上回っています。

生活訓練等事業については、年々増加しており、平成25年度の実績が見込みを上回っています。

手話通訳者養成事業については、研修開催数の実績が見込み量を下回っています。また、要約筆記者養成事業については、平成25年度は講師不在により実施できませんでした。

その他の地域生活支援事業については、実績はほぼ横ばいとなっています。

第4期船橋市障害福祉計画の策定と基本指針の見直しについて

現在の第3期船橋市障害福祉計画の期間が平成26年度で満了することから、平成27年度からの第4期船橋市障害福祉計画を策定しております。

障害福祉計画の策定については、国の基本指針に即して策定することとされており、第4期の障害福祉計画に係る基本指針案の主な内容としては、計画の作成プロセスに関する事項としてPDCAサイクルの導入や、個別施策分野の成果目標に関する事項として、引き続き福祉施設から地域生活への移行促進や福祉から一般就労への移行促進、また新規に地域生活支援拠点等の整備などが示されています。